

大会宣言

終息に向かうと思われていた新型コロナウイルスのパンデミックは、現在、第7波の只中にあります。1日あたりの感染者数は過去最多の18万人超となり、保健所や医療現場はひっ迫が続いています。

新型コロナウイルスで傷んだ市民生活に追い打ちをかけるかのように、光熱費・食品など生活に影響を及ぼす物価の上昇が続いています。大手企業を中心に春闘による賃上げは実現できたとはいえ、物価の上昇に追い付かず、かつ、社会全体への波及もできていません。

こうした中で行われた参議院議員選挙では右翼勢力の跋扈を許し、結果は野党の惨敗に終わりました。選挙戦終盤で殺害された安倍晋三元総理の遺志を受け継ぐという旗印のもと、憲法改悪が目前に迫る未曾有の危機を迎えています。

一方、海外に目を転じれば、ロシアによるウクライナ侵攻は依然として停戦・終戦の目処が立っていません。破壊された街の中で、多くの市民・労働者は、命が危険に晒される日々を送っています。

こうした中、私たち全国ユニオンは第21回目となる定期大会を迎えました。この間、フリーランスやギグワークなど雇用ですらない働かせ方も広がりました。全国ユニオンは、結成当初から「あらゆる働き方に権利を」と訴え続けています。雇用・非雇用に関わらず、現場に足を運び、働く者の声を聴き、ともに闘っていくことを今後も継続していきます。

労働組合にできること、労働組合にしかできないことは、まだまだたくさんあります。その一つひとつの実践が、多くの市民・働く者の「希望」です。

そして、その実践を広く運動として展開していくためには、海外を含めて志を同じくする仲間とつながり、広範に大同団結していくことが必要です。その中で、全国ユニオンだからできることがあるはずです。

引き続き1万人の全国ユニオンを目指し、あきらめることなく、力強く、着実に歩みを進め、明るく・激しく・楽しい運動を展開していこう。

以上、宣言する。

2022年7月23日

全国ユニオン第21回 定期大会